



小川 尚一 議員

人づくりによるまちづくりを

高齢者と交通弱者のための循環バスを

問 まち・ひと・しごと創生法が、昨年11月26日公布されたが、南相馬市復興総合計画との整合性と取組みは。

答 まち・ひと・しごと創生総合戦略においての基本目標は、地方における安定した雇用の確保創出、地方への新しい人の流れの創造、若い世代の結婚、出産、子育ての希望の実現と、時代に合った安心な暮らしを守る地域づくりを上げている。我々として震災原発事故からの復旧再生が最優先課題であり、何よりも人づくりが重要と考える。本市の復興総合計画の重点施策と方向性を一つにして、基本に据えて事業策定を進める。



平成14年原町市循環バス実証実験事業チラシ

問 高齢社会が進む中で、交通弱者のための公共交通政策として、循環バスの考えは。

答 高齢者など交通弱者が元気に自立した生活を送る上で、利便性の高い公共交通網は必要不可欠と認識している。今後、公共交通活性化協議会において、循環バス、オンデマンドタクシー、シャトルバスなどを導入し、公共交通網形成に努める。

学力向上に市独自の職員配置を

問 教育政策として、学力向上を目的として、通年による職員採用の考えがあるか伺う。

答 教職員の配置は、県で責任を持って配置するが、市独自の施策として、必要であれば市長との会議の中でも取り組んでいきたい。

質問を終えて
まち・ひと・しごと創生総合戦略は、大都市一極集中から地方創生のチャンス！

その他の質問

- 1 街路灯を市で一括管理する考えは
- 2 ふるさと教育で民謡の継承と馬の文化を復興へ全国都市緑化フェアの誘致推進を



今村 裕 議員

さあ、始まるぞー！南相馬の再生

問 避難指示区域解除の見通しと、判断時期について伺う。

答 9月以降に開催する説明会や意見交換会等で、住民との十分な協議を踏まえた上で、年内を目途に判断する。

問 改築の遅れに伴い、帰りたくても帰れない世帯が、かなりある。仮設住宅や借り上げ住宅の延長を余儀なくされるが、対処策を伺う。

答 県では今現在、平成29年3月までの延長を打ち出した。今後、業者の不足により、思うように改築が進まず、更なる延長策を講じることが想定されるが、避難者が困惑しないよう、引き続き、国・県に要望していく。

問 解除と賠償を切り離すことの意味を伺う。

答 財物賠償にこだ



力強く咲き誇るヒマワリ

わっているのは、復興は進まない。復興は先に進めたい、同時に賠償はしっかりと対応せよとの方針を維持している。

問 20km圏内の除染手法に差がある。進捗状況も芳しくないようだが、見解を伺う。

答 線量の高い西部地域と低い所では、除染手法が異なると考えている。現在、約3千名の作業員を増員し、加

質問を終えて
問題・課題は山積していますが、漸くここに来て、光が差してきたように感じます。

その他の質問

- 1 避難指示解除後の移住・定住促進策は
- 2 野馬懸祭の課題と対応策は
- 3 豊かな心を育む教育の推進は

